

小学校3・4年生は  
こんな時期です



学習時間の  
めやす

50～60分

## 「育ち」や「学び」の特徴

- 自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだ手助けは必要です。
- 好奇心が旺盛で、行動範囲も広がります。
- みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。
- 家族の温かい助言や励ましの言葉が、やる気を起こさせます。

## 学校での学習内容の特色

- 「総合的な学習の時間」や「社会科」「理科」「外国語活動（英語）」の学習が始まり、学習範囲も大きく広がります。
- 資料集や地図帳、辞典などを使い、調べ学習をすることが多くなります。
- 新しい漢字を、たくさん習います。（3・4年生とも200字ずつ）
- 算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。
- 四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ $\times$ ・ $\div$ ）の基礎・基本を徹底して学びます。
- ストレッチやバランス運動、器械運動、走・跳の運動、泳ぐ運動、ゲーム及び表現運動を通して技能を養い、楽しみながら体力をつけていきます。



## 家庭学習の コツ！3か条



1

### 宿題以外の学習にも挑戦！～すすんで学ぶ好奇心を～

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組ませ、家庭学習のレベルアップを図っていくとよいでしょう。そのためにも、身のまわりの自然や社会の出来事にも目が向くように働きかけをしましょう。家事を分担し、進んで行うことも、りっぱな学習です。

2

### テレビやゲームは時間を決めて！～家族の協力を～

テレビやゲームに夢中になって、時間がだらだらと長くなることがあります。けじめをつけさせることが自律性や学習への集中力を育てることに必要です。根負けせずに、アドバイスし続けましょう。また、協力して環境を整えてあげることも大切です。

3

### ほかの子どもと比べない！～がんばりを本気でほめる～

学習に少しずつ個人差が出てくる頃です。友だちや兄弟姉妹で成長を比べることは避けて、本人の「がんばり」を見逃さずに本気でほめましょう。

親子で  
確認

## ワンポイント アドバイス



小学校  
3・4年生 家庭学習  
こんな内容・方法で

## ～家庭学習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣を。
- 今日の宿題を自分で確かめさせる。

宿題

子どもの力にあった内容や量になっているか、必要なときは先生とも相談してみましょう。

日記

様子がよく分かるように、会話を入れて詳しく書くようにアドバイスしましょう。読み直す習慣もつけさせましょう。

国語

音読

- 毎日1回は声に出して読みましょう。会話文は、気持ちをこめて読みましょう。
- 読みながら作品の内容を理解し、情景がイメージできるように意識しましょう。

漢字

- 学校の漢字ドリルなどを活用して、繰り返し丁寧に練習しましょう。
- 正しい筆順で「はね・はらい・とめ」に気をつけて書きましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるよう手元におき、常に使用しましょう。

算数

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつ計算しましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 複雑な計算も、集中して順番に計算していきましょう。
- 見やすいノートの使い方をし、間違った問題は自分でやり直しましょう。

社会

- 都道府県の位置や地図の使い方を覚えましょう。
- 地域の産業や人々の生活（消防・警察・水・電気等）などについて触れる機会をもちましょう。



長い休みにはこんなことを！ たっぷり時間をかけてふだんはできないことをやってみましょう。

- 地域の行事や子ども会の活動などの場に参加して、気づいたことや感じたことをまとめる。
- 自分の町の自慢（自然・施設など）を絵に描いたり、身のまわりの材料で工作したりする。
- 少し長めの本を読み通したり、植物や動物の成長を詳しく記録したりする。など

## 我が家の場合…

- 家族の一員として何か家事に参加させること。我が家ではトイレ掃除を一週間交代で二人の子どもに分担しました。
- 周りの子と比べてイライラするよりも昨日の我が子と比べてほめましょう。

ちゅうじ

小学校で習う漢字は高校入試まで出てくると言われます。小学校のうちに身につけておきたいことは、まず「漢字っていやだなあ。面倒だなあ」という気持ちを乗り越えさせることです。そのためには毎日少しずつでも漢字練習をして慣れさせることが大切です。毎日毎日コツコツと努力を繰り返すことで力となるのです。あせらず取り組みましょう。

ちゅうじ